

# 第1回生活充実講話(情報モラル)

平成29年4月12日(水)実施

毎年、1年生を対象に「情報モラル」をテーマに講演会を実施している。普及したスマホの便利さの裏で多発している犯罪や、個人情報漏洩、不用意な書き込みによるトラブル等を起こさない、巻き込まれない方法について学んだ。また、スマホの長時間利用が学習や生活へ悪影響を及ぼすことも学んだ。



## 1 講師 NTTドコモ東海

藤山 美恵子(ふじやま みえこ)氏

## 2 演題 講演「スマホ・ケータイ安全教室」

## 3 内容

現在広く普及しているスマホは、いわゆる携帯できるパソコンである。講話の前半では「被害にあわないために」という側面と、「自分が加害者にならないために」という2つの側面からお話をいただき、実際に起こったトラブルの再現ドラマやQ&Aを通し、インターネットの6つの特徴のうちの「世界中に公開されている」「匿名ではない」という点で認識が甘くなりがちであることを学んだ。

また、SNSなどの文字によるコミュニケーションツールを使用する場合には、言葉の受け止め方の違いから生じる誤解が、他人を傷つけたり、いじめや事件にまで発展したりする危険性があることも学んだ。

後半では、主にスマホの長時間利用に伴う問題について学んだ。スマホによってなくすのは、睡眠時間と勉強時間であり、スマホ依存が進学等の進路にまで影響する危険性があることを学んだ。

他人に迷惑をかけないという意識を持ち、フィルタリングサービスを利用し、トラブルがあったら大人に相談することを忘れず、責任を持ってスマホやインターネットを利用することが大切であると分かった。

## 4 生徒の感想 (感想の一部を抜粋しています)

- ・インターネットは便利で楽しいものであり、危険なサイトを開かなければ安全だと思っていましたが、SNSやLINEからも、個人情報が流出する危険性があり、周囲に迷惑をかけることもあることを知り怖くなりました。
- ・文字によるコミュニケーションツールの怖さを知りました。私もLINEを使っていますが、誤解を招いたり、信頼関係に影響が出ないように気をつけて使いたいと思います。
- ・スマホを上手に利用するために、フィルタリングサービスを利用し、誤解を招く表現を使わないことや個人情報が特定されるような書き込みや写真を発信しないように気をつけていきたいと思います。

